



環境マネジメントシステム(EMS)を始動しました

環境委員会の設置と、その使命

成蹊学園は、2006年4月に学園環境委員会を設置し、従来取り組んできた環境保全対策を組織的な活動へと発展させるべくつとめてきました。環境問題への取り組みは、現代社会において世界的課題と認識されつつあり、環境問題に貢献する研究の推進や人材の育成についての教育研究事業体の責任は増すばかりです。成蹊学園は、こうした社会的な責任を認識し、学園の環境保全対策の社会的信頼性の向上を図るため、その指針といえるISO14001の認証を2008年度中に取得する方針を定めました。各学校がこれまで独自に取り組んできた環境保全にかかわる諸活動や教育・研究活動を尊重しつつ、学園全体での組織的取り組みを進めるため、学園を「小学校」「中学・高等学校」「大学（経済学部・文学部・法学部など）」「大学理工学部」「法人」の五つの区域に区分し、それぞれに「区域環境委員会」を設置しました。

ISO14001 認定取得に向けて

2007年4月からは「学園環境委員会」のもとに新たに設置された「ISO14001推進部会」および五つの「区域環境委員会」が協同してISO14001の認証取得に向けた準備を進めています。2007年秋には教職員全員を対象としたアンケートを実施して、学園の諸活動が環境におよぼす影響（環境負荷）を明らかにしました。また、その集計結果にもとづいて「環境負荷を軽減することをめざす活動」および「環境の改善に貢献することをめざす活動」の二つの観点から今後学園が取り組むべき課題を決定しました。さらに、このうち3年間で達成をめざす中期的な「目的」と、それを計画的に達成するための単年度の「目標」を定めました。

特定された著しい環境側面とそれぞれについての中期的な目的・単年度の目標(案)

● マイナスの側面（環境負荷の軽減をめざす）

著しい環境側面	目的 2008～2010年度(案)	目標 2008年度(案)
電力・ガスの使用	電気・ガス使用量の削減(3年間で3%削減)	電気・ガス使用量を2007年度(基準年)実績に対し1%削減する
水の使用	水の使用量の削減(3年間で1%削減)	水の使用量を2007年度(基準年)実績に対し0.5%削減する
紙の使用	紙の使用量の削減(3年間で2%削減)	紙の使用量(OA紙・封筒購入量)の把握方法を検討し、2008年度の実績を算出する
使い捨て容器・箸・レジ袋の使用	使い捨て容器・割り箸・レジ袋の削減	使い捨て容器・割り箸・レジ袋の削減の方法を検討・計画し、実施する
製品の購入	グリーン購入の取り組みを促進する	学園のグリーン調達方針を策定する グリーン購入法適合製品の情報提供を進めて積極的な購入を促す
化学物質の使用	化学物質の適正な管理を進める	化学物質の適正な管理を実施し、維持する

● プラスの側面（環境改善への貢献をめざす）

著しい環境側面	目的 2008～2010年度(案)	目標 2008年度(案)
環境教育・学習プログラムの提供	小・中高・大学における環境教育・学習を推進する	小・中高・大学における環境教育・学習の機会を増やし、充実させる
環境関係の研究の実施	中高・大学における環境関係の研究を充実させる	中高・大学における環境関係の研究をさらに増やし、充実させる
環境問題に対する理解と関心の向上	学園における環境教育・学習について発信・公開するとともに自らの環境への意識を高める	学園における環境教育・学習について発信・公開するとともに自らの環境への意識を高める
地域とのコミュニケーション	地域社会とのコミュニケーションのさらなる充実を図る	地域社会とのコミュニケーションのさらなる充実を図る
環境の整備・緑の保全・充実	キャンパスの緑の維持と適正な計画による整備・充実を図る	キャンパスの緑の維持と適正な計画による整備・充実を図る

成蹊学園の環境マネジメントシステム

2008年度の目標達成に向けて、成蹊学園として、また各区域として進める具体的な計画や取り組み項目・管理体制などを決め、いよいよこの4月からは、成蹊学園の環境マネジメントシステム(以下EMS)の運用を開始します。EMSとは、「計画(Plan)、実行(Do)、確認(Check)、見直し(Action)」(PDCA)を繰り返すことによって、継続的な環境改善をめざすものです。EMSの運用開始により、目的・目標の達成に向けて教職員全員が一致協力して取り組んで行くこととなりますが、この達成のためには、学園に関わる多くの方々、児童・生徒・学生、保護者・卒業生の皆さま、取引会社の方々などに、ご理解とご協力をいただく必要があります。

成蹊学園は、小学校から大学院までの教育研究機関が緑豊かなワンキャンパスで一貫教育の伝統を継承してきた学園です。環境保全に関してもこうした特長を生かし、成蹊学園独自の環境保全対策の確立をめざします。皆さまのご理解、ご支援のほどよろしくお願いたします。

各区域の2008年度の主な取り組み目標

■ 小学校	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の収穫から調理までの一貫した食農教育の推進 環境に関する授業のカリキュラム充実 児童と教職員による校内の美化
■ 中学・高等学校	<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギーに配慮した高等学校新校舎の建設 生徒会を中心としたリサイクル活動 資源の有効活用と環境美化
■ 大学 (経済学部、文学部、法学部等)	<ul style="list-style-type: none"> 環境をテーマとした講座の実施 ゴミの清掃や整理整頓による環境意識の醸成 学生環境委員会を中心としたエコ活動の支援体制強化
■ 大学理工学部	<ul style="list-style-type: none"> 薬品および高圧ガスの管理システムの運用開始 環境に関する教育研究活動の促進
■ 法人	<ul style="list-style-type: none"> 地域清掃活動の定着と継続 沿道緑化の推進 学園の環境への取り組みの周知・マナー向上